

平成 25 年度「外部検定試験を活用した英語による
コミュニケーション能力・論理的思考力の検証に関する調査」

報告書

平成 26 年 3 月

平成 25 年度 「外部検定試験を活用した英語によるコミュニケーション能力・ 論理的思考力の検証に関する調査」結果の概要

調査の目的

本調査は、我が国の生徒の英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力について、民間事業者により開発された試験等を活用して把握・分析し、指導改善に活かすことにより、戦略的な英語教育の改善を図ることを目的として実施したものである。

調査の概要

(1) 調査の対象：

① 高等学校

調査対象校（215 校）に在籍する高等学校及び中等教育学校後期課程の第 3 学年の生徒（約 46,600 人）

② 中学校

調査対象校（26 校）に在籍する中学校及び中等教育学校前期課程の第 3 学年の生徒（約 2,600 人）

(2) 調査事項及び方法：

① 生徒に対する調査

- 英語力に関する調査：「英語コミュニケーション能力判定テスト」
ペーパーテスト：高等学校，中学校
ICT テスト（コンピュータを使った調査）：中学校（2 校）

- 質問紙調査

② 学校（外国語担当教員）に対する調査

- 質問紙調査

(3) 調査期間：

平成 25 年 6 月下旬～9 月末のうち，調査対象校が希望する日

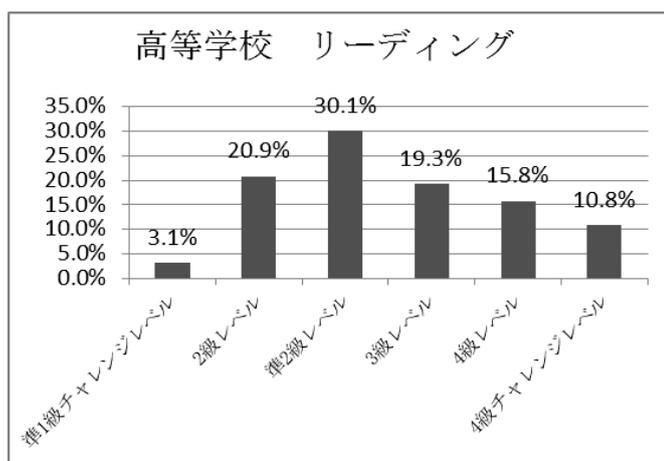
調査結果の概要

(1) 高等学校

① スコアの結果

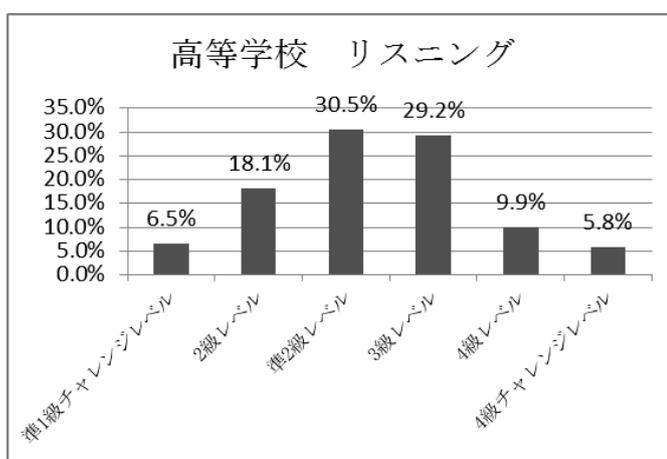
リーディング

平均スコアは、680 満点に対して 426.3 点である。実用英語技能検定試験（以後、英検）のレベル分布は、以下のとおりである。準 2 級レベル以上の受験者が、半数以上の割合（54.1%）を占めている。



リスニング

平均スコアは、680 満点に対して 442.6 点である。受験者の英検レベル分布では、以下のとおりである。準 2 級レベル以上の受験者が、半数以上の割合（55.1%）を占めている。



ライティング

平均スコアは、11 点満点に対して 6.8 点である。

論理的思考力

論理的思考力は、リーディングとリスニングの一部として提示された。論理的思考力の問題の集計においては、論理的思考力のみとして集計されたものと、リーディングまたはリスニングの問題と重複して集計されたものがある。

平均スコアは、23 点満点に対して 14.6 点である。

スピーキング

スピーキングは全受験者の約 18%が、レベル 3 (英検 3 級相当レベル)、レベル P2 (英検準 2 級相当レベル)、レベル 2 (英検 2 級相当レベル) の 3 種類

レベル	受験者数 (受験者数の割合)	平均合格率
レベル 2	3,459 (41.9%)	63.1%
レベル P2	3,871 (46.9%)	53.0%
レベル 3	917 (11.1%)	66.3%
合計	8,247	

のテストのうちの 1 つを受験した。受験レベルは、各校が任意に選択した。各レベルの受験者数と合格レベルに達した割合 (平均合格率) は表の通りである。

② 調査結果から見られる傾向と課題

- ◇ 情報量の少ない単純な英語であれば、相当数の生徒が英語で理解できている。
- ◆ 情報量の多い会話や英文を理解することに、課題がある。
- ◆ 複雑な状況設定を整理・統合したうえで、英語で理解したり表現したりすることに、課題がある。

③ 指導との関係

- 分析の結果、スコアが高い群ほど、ライティングやリスニングを行う頻度を高く答えた教員の割合が増える傾向が見られた。
- また、標準得点が上昇した学校ほど、ワークシートの活用を頻繁に行うと答えた教員の割合が多い傾向が見られた。さらに、標準得点が上昇した学校ほど、文法の説明を頻繁に行うと答えた教員の割合が少ない傾向が見られた。

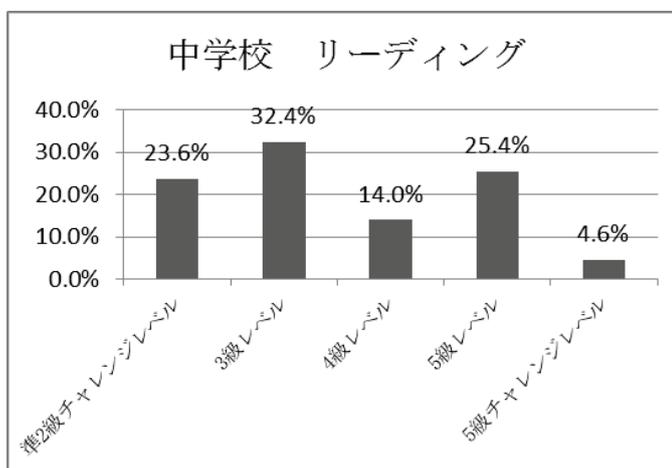
(2) 中学校

① スコアの結果

リーディング

今回の調査では、リーディングが ICT の形式で実施された。紙調査と ICT 調査では、論理的思考力の問題 3 問以外は同じ問題が提示された。

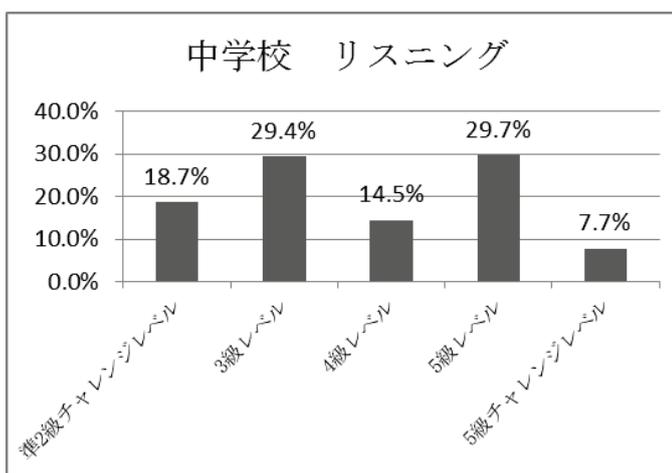
全体としての平均スコアは、460 満点に対して 336.8 点である。受験者の英検レベル分布では、以下のとおりである。3 級レベル以上の受験者が、半数以上の割合（56%）を占めている。



正答率で違いを見ると、紙調査受験校の平均正答率は、75.4%であり、ICT 調査受験校の平均正答率は、73.6%であり、大きな違いは見受けられない（ただし、ICT 調査の受験校は 2 校のみのため、有意な数値とは言えない）。

リスニング

平均スコアは、460 満点に対して 320.2 点である。受験者の英検レベル分布では、以下のとおりである。3 級レベル以上の受験者が、半数近い割合（48.1%）を占めている。



ライティング

平均スコアは、9 点満点に対して 6.6 点である。

論理的思考力

論理的思考力は、リーディングとリスニングの一部として提示された。論理的思考力の問題の集計においては、論理的思考力のみとして集計されたものと、リーディングまたはリスニングの問題と重複して集計されたものがある。

中学校では、コンピュータを使ったテスト（ICT テスト）が 2 校において実施されたが、論理的思考力問題の一部がペーパーテストと ICT テストでは異なる問題が提出された。ペーパーテスト受験校（23 校）における平均スコアは、23 点満点中 14.3 点である。ICT テスト受験校（2 校）における平均スコアは、23 点満点中 13.5 点である。共通する問題の正答率は、ペーパーテストが 60%、ICT テストが 55.9% である。

スピーキング

スピーキングは全受験者の約 49%がレベル 3 を受験した。受験レベルは、各校が任意に選択した。合格レベルに達した割合（平均合格率）は 61.5%である。

② 調査結果から見られる傾向と課題

- ◇ 簡単な語彙など言語材料についての知識は、相当数の生徒ができています。
- ◇ 身近で簡単な話題であれば、英語で理解したり表現したりすることについては、およそその生徒ができています。
- ◆ 分量の多い文章の内容を理解することに課題がある。

③ 指導との関係

- 分析の結果、スコアが低い群ほど、生徒が授業で行う発話のうち英語で行う比率が半分未満であると答えた教員の割合が増える傾向が見られた。

目次

平成 25 年度「外部検定試験を活用した英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力の検証に関する調査」結果の概要	3
1. 調査の目的	10
2. 調査の概要	10
(1) 調査の対象	10
(2) 調査事項及び方法	10
(3) 調査期間	11
(4) 受験した学校数・生徒数及び回答した教員数	11
(5) 調査結果の解釈等に関する留意事項	12
3. 出題内容	13
(1) 高等学校	13
(2) 中学校	24
4. 調査結果の概要	27
(1) 高等学校	27
(2) 中学校	43
5. 質問紙調査結果の分析	58
(1) 生徒質問紙の集計結果（サマリー）	58
(2) 生徒質問紙の集計結果（詳細）	61
(3) 外国語科担当教員質問紙の集計結果（サマリー）	62
(4) 外国語科担当教員質問紙の集計結果（詳細）	65
6. 質問紙調査結果とスコアのクロス集計	66
(1) 質問紙調査結果とスコアのクロス集計（サマリー）	66
(2) 質問紙調査結果とスコアのクロス集計（詳細）	69
7. 経年変化	70
(1) 経年変化の表し方	70
(2) 学校別経年変化	71
(3) 昨年度からの変化	76
(4) 学校の取組紹介	78
8. 参考資料	87
資料 1：質問紙調査結果の分析	93
(1) 生徒質問紙	95
(2) 外国語科担当教員質問紙	111
資料 2：質問紙調査結果とスコアのクロス集計	129
(1) 高等学校：生徒質問紙とスコアのクロス集計結果（詳細）	131

(2) 高等学校：外国語科担当教員質問紙とスコアのクロス集計結果（詳細）	138
(3) 中学校：生徒質問紙とスコアのクロス集計結果（詳細）	147
(4) 中学校：外国語科担当教員質問紙とスコアのクロス集計結果（詳細）	154
資料 3：生徒質問紙の回答結果集計（経年変化）	163
(1) 生徒質問紙の回答結果集計 平成 24 年度と平成 25 年度の比較（詳細）	165
(2) 生徒質問紙の回答結果集計 平成 24 年度と平成 25 年度の比較 平成 24 年度英検 受験校グループの成績伸び別比較（詳細）	177
(3) 生徒質問紙の回答結果集計 平成 24 年度と平成 25 年度の比較 平成 24 年度 GTEC 受験校グループの成績伸び別比較（詳細）	186
資料 4：都道府県別経年変化.....	195
(1) 平成 24 年度英検受験グループ 標準得点差別道府県数	197
(2) 平成 24 年度 GTEC 受験グループ 標準得点差別道府県数	199

1. 調査の目的

本調査は、我が国の生徒の英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力について、民間事業者により開発された試験等を活用して把握・分析し、指導改善に活かすことにより、戦略的な英語教育の改善を図ることを目的として実施したものである。

2. 調査の概要

(1) 調査の対象

① 高等学校

調査対象校（215校）に在籍する高等学校及び中等教育学校後期課程の第3学年の生徒（約46,600人）

② 中学校

調査対象校（26校）に在籍する中学校及び中等教育学校前期課程の第3学年の生徒（約2,600人）

(2) 調査事項及び方法

① 生徒に対する調査

- 英語力に関する調査：「英語コミュニケーション能力判定テスト」
ペーパーテスト：高等学校，中学校
ICT（コンピュータを使った調査）テスト：中学校（2校）
- 質問紙調査

② 学校（外国語担当教員）に対する調査

- 質問紙調査

(3) 調査期間

平成 25 年 6 月下旬～9 月末のうち，調査対象校が希望する日

(4) 受験した学校数・生徒数及び回答した教員数

① 高等学校

		受験団体数 及び受験者数
道府県数		44
学校数		215
生徒数	リーディング	46,575
	リスニング	46,554
	ライティング	46,755
	論理的思考力	46,689
	スピーキング	8,247
	生徒質問紙	46,616
教員数	外国語科担当教員質問紙	1,862

② 中学校

		受験団体数 及び受験者数
道府県数		11
学校数		26
生徒数	リーディング	2,568
	リスニング	2,566
	ライティング	2,575
	論理的思考力	2,521
	論理的思考力 (ICT)	50
	スピーキング	1,249
	生徒質問紙	2,561
教員数	外国語科担当教員質問紙	96

(5) 調査結果の解釈等に関する留意事項

本調査結果の解釈については以下の点に留意されたい。

- 本調査は、生徒に求められる英語力や学習状況について把握・分析を行うとともに、それらの結果を指導の改善に活かすことを目的としている。しかしながら、あくまで民間事業者により提供された試験を活用するものであり、必ずしも学習指導要領全体を網羅したものではないことなどから、調査の結果は、生徒に求められる英語力の一部、または学校における教育活動の一側面に関するものである。
- 本調査は「平成 25 年度 英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」事業を実施する 44 道府県教育委員会が任意に選んだ学校を調査対象としており、統計的な処理を経た抽出調査ではない。
- 本調査において用いられた試験問題は非公開である。

本報告書は、「外部検定試験を活用した英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力の検証に関する調査の分析・活用に関する検討委員会」(p.93～94) の委員各位の協力を得て作成した。

3. 出題内容

(1) 高等学校

■ リーディング

出題のねらい: 英語を読み解けるか, 語彙や文法の知識が身についているかどうかをみる。

出題分野	問題数
語彙	6 問
文法	3 問
表現	3 問
読解	6 問

出題分野: 語彙

趣旨: 文脈から判断し, 適切な語彙/熟語を選択することができるかどうかを問う。

出題形式の見本 *出題見本は, 本調査で使用された問題ではありません。

次の (1) から (6) までの() に入れるのに最も適切なものを, **1, 2, 3, 4** の中から 1 つ 選びなさい。

John doesn't like to talk in front of people because he is very ().

1 delicious **2** crowded **3** public **4** shy

出題分野：文法

趣旨：語順に注意しながら文を読むことができるかどうかを問う。(語順整序問題)

出題形式の見本 *出題見本は、本調査で使用された問題ではありません。

次の英文がそれぞれ完成した文章になるように単語を並びかえたとき、2番目と4番目にくるものとして最も適切なものを選びなさい。

Sarah () parents that she had failed the test, so she pretended she had passed it. They only discovered the truth when they went to her school to talk with her teacher.

- | | | |
|------------------|----------------------|---------------|
| 1 to tell | 2 didn't | 3 have |
| 4 her | 5 the courage | |

出題分野：表現

趣旨：会話の流れから、適切な応答をすることができるかどうかを問う。

出題形式の見本 *出題見本は、本調査で使用された問題ではありません。

次の会話について、()の中に入れるのに最も適切なものを、**1, 2, 3, 4**の中から1つ選びなさい。

A: Welcome to Mega Burger.

B: Hi. I'd like a cheeseburger and an iced tea.

A: That's five dollars. Will you be eating here, ma'am?

B: Well, it's a nice day today, so ()

- 1** I'd like two cheeseburgers.
- 2** I'll eat outside.
- 3** here's more money.
- 4** let me get my umbrella.

出題分野：読解

趣旨：本文の内容を把握し、登場人物の行動や文中で指摘されている問題点を理解できるかどうかを問う。

出題形式の見本 *出題見本は、本調査で使用された問題ではありません。

次の英文の内容に関して、質問に対する答えとして最も適切なものを、**1, 2, 3, 4**の中から1つ選びなさい。

Cycle City

The streets of Paris are often crowded with cars and other vehicles. This traffic makes it difficult to travel around the city and also causes pollution. In July 2007, the city government introduced a system to help solve these problems. It parked about 10,000 bicycles at 750 special bicycle stations around the city. People can rent the bicycles and then return them to any of the stations. The city hopes that people will stop using their cars so much and start riding bicycles more often.

This is not the first time that this type of system has been tried. In Amsterdam in the 1960s, hundreds of bicycles were put on the streets for anyone to use for free. Unfortunately, many of the bicycles were damaged or stolen, and the system had to be stopped.

The city government of Paris is trying to avoid these problems. The bicycles it is using are strong and do not get damaged easily. Also, people must pay a fee by credit card to use the bicycles. The fee is low for the first hour so that people will return the bicycles quickly. But if the bicycle is not returned within 24 hours, 150 euros will be taken from their credit card.

Although the bicycles are already being widely used, it is too soon to tell what effect they are having on the environment. The people who rent the bicycles may not be people who have stopped driving cars. In addition, it is not always possible for drivers to start riding bicycles. People who travel long distances or need extra space because they do a lot of shopping still use cars. However, the Paris bicycle system has been getting a lot of attention around the world, and other cities are thinking about copying it.

What is one reason the bicycle system in Amsterdam did not work?

- 1** The bicycles cost too much to rent.
- 2** People preferred to use their friends' bicycles.
- 3** The streets were dangerous to ride bicycles on.
- 4** Many of the bicycles were never returned.

■ リスニング

出題のねらい：英語を聞き取って，理解できるかどうかをみる。

出題分野	問題数
会話文応答	9 問
会話文内容一致	8 問
文章内容一致	5 問

出題分野：会話文応答

趣旨：会話を聞き取り，応答として適切な言葉を伝えることができるかどうかを問う。

出題形式の見本 *出題見本は，本調査で使用された問題ではありません。

対話を聞き，その最後の文に対する応答として最も適切なものを **1,2,3,4** の中から 1 つ 選びなさい。

(放送部分)

★：Mom, I asked Emily to marry me yesterday. She was so surprised!

☆：Well, what did she say, Frank?

★：She said yes! We've decided to have the wedding in March.

☆：Congratulations! I'm so happy for you!

Question: What does Frank tell his mother?

(印刷部分)

- 1 He had a party yesterday.
- 2 He will take a trip in March.
- 3 He is going to marry Emily.
- 4 He went to a friend's wedding.

出題分野：会話文内容一致

趣旨：会話の内容を踏まえ、登場人物の行動や気持ちを適切に答えることができるかどうかを問う。

出題形式の見本 *出題見本は、本調査で使用された問題ではありません。

対話と質問を聞き、その答えとして最も適切なものを **1,2,3,4** の中から 1 つ選びなさい。

(放送部分)

☆ : Dad, I'm going to send Grandma a thank-you card for the birthday present she gave me.

★ : That's a good idea, Andrea. Are you going to buy the card?

☆ : No. I'll make one myself and draw a picture on it.

★ : Grandma will love it.

Question: What is Andrea going to do?

(印刷部分)

- 1** Make a card for her grandmother.
- 2** Buy a present for her grandmother.
- 3** Visit her grandmother.
- 4** Call her grandmother.

出題分野：文章内容一致

趣旨：英文の内容を踏まえ、登場人物の行動や物事の理由を適切に答えることができるかどうかを問う。

出題形式の見本 *出題見本は、本調査で使用された問題ではありません。

対話と質問を聞き、その答えとして最も適切なものを **1,2,3,4** の中から 1 つ選びなさい。

(放送部分)

Mariko has a special baseball. When her father was 10 years old, he went to a professional baseball game in Boston. A famous player hit a home run during the game, and Mariko's father caught the ball. He gave Mariko the ball for her 10th birthday.

Question: What is special about Mariko's baseball?

(印刷部分)

- 1** It was made in Boston.
- 2** It had a player's name on it.
- 3** Her father won it in a competition.
- 4** A famous player hit a home run with it.

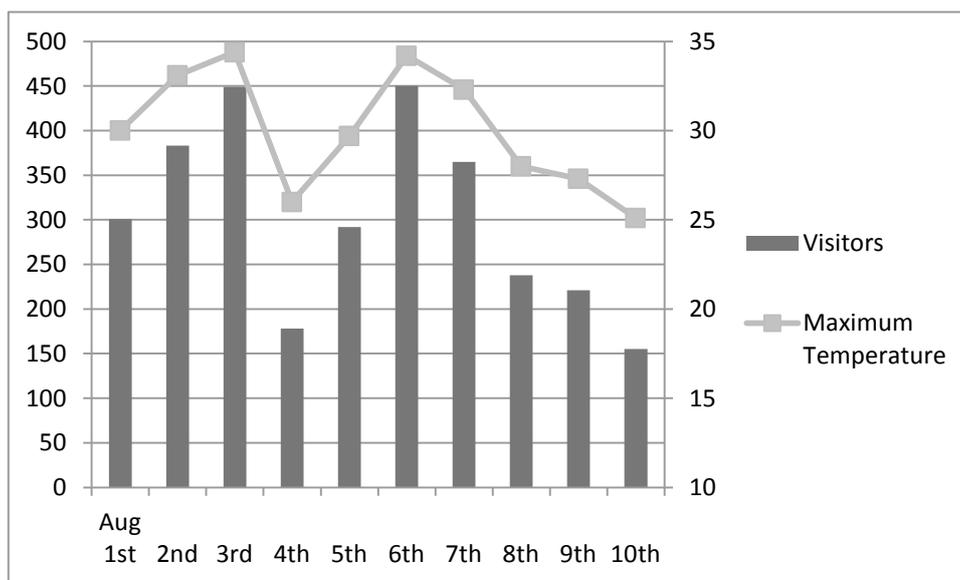
■ ライティング

出題のねらい：資料の内容を踏まえ、英語で書くことができるかどうかをみる。

趣旨：与えられた図表から関係性を読み取り、その関係を分かりやすい英文で適切に書くことができるかを問う。

出題形式の見本 *出題見本は、本調査で使用された問題ではありません。

下のグラフは、あるプールの夏のある時期の入場者数と、その時期の最高気温の推移を表したものである。このグラフをもとに、入場者数と最高気温にどのような関係があるかを示したうえで、なぜそのような関係があるかについて、50語以上の英語で書きなさい。解答は、解答用紙の所定欄に記入しなさい。



■ スピーキング

出題のねらい：英語を使って口頭で説明することができるか、質問に応答することができるかどうかをみる。

問題の概要：評価はどのレベルも音読・質問応答・態度の3つの観点において行う。態度はどのレベルにおいても積極性、明瞭な音声、自然な反応の3点が評価の対象となっている。

レベル 2	音読では、英文を正確に読み上げる能力を測定する。質問応答の No.1 では音読した文章に関して、No.2 ではイラストに関してその展開を問う。No.3 と No.4 では、受験者には自分の意見を、根拠を持って答えることが求められる。
レベル P2	音読では、英文を正確に読み上げる能力を測定する。質問応答の No.1 では音読した文章に関して、No.2 と No.3 ではイラストの描写に関して問われる。No.4 と No.5 は、受験者の意見を問う。
レベル 3	音読では、英文を正確に読み上げる能力を測定する。質問応答の No.1 では音読した文章に関して、No.2 と No.3 ではイラストに関して問われる。No.4 と No.5 は、受験者がどのような意見を持っているかを問う。

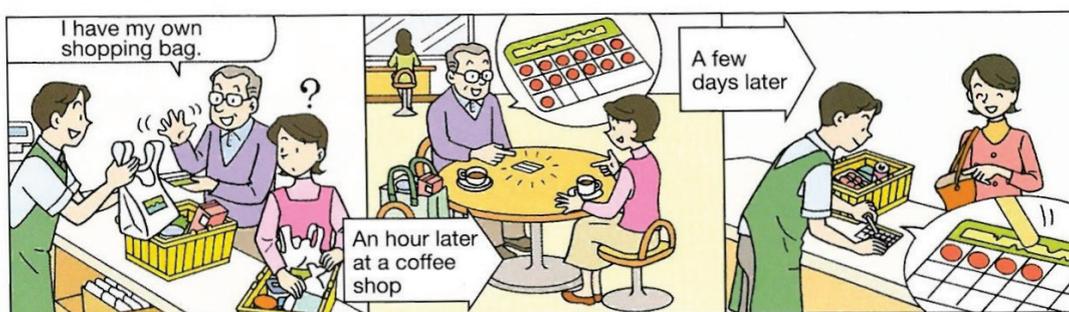
出題形式の見本（レベル2相当） *出題見本は、本調査で使用された問題ではありません。

(面接カード)

Stamp Cards

These days many shops provide various kinds of stamp cards to attract shoppers. Some of these are for discounts and others can be used to get free gifts. However, some customers complain that they get too many stamp cards wherever they shop. They think it is too troublesome to carry all the stamp cards and so give up the chance to use them.

Your story should begin with this sentence: **One day, Tomoko and her father were checking out at the cashier at the supermarket.**



(質問部分)

No.1 According to the passage, why do some customers complain that they get too many stamp cards wherever they shop?

No.2 Now, please look at the picture and describe the situation. You have 20 seconds to prepare. Your story should begin with the sentence on the card. <20 seconds> Please begin.

Now, Mr./Ms._____, please turn over the card and put it down.

No.3 Some people say that it is a good idea to shop at a discount store. What do you think about that?

No.4 These days, more and more shops are open 24 hours. Do you think it is a good trend?

Yes. → Why?

No. → Why not?

■ 論理的思考力

出題のねらい：他者の作った論理的構造を理解できるか、相手を説得できる説明を組み立てられるかどうかをみる。

論理的思考力は、リーディングとリスニングに含まれた形で出題され、以下の構成要素から成り立っている。

出題分野	問題数	分野の説明
表現・推論	6 問	論理規則を用いて、筋の通った議論を作りあげること。また、接続表現などを用いて、議論を分かりやすく示すこと。
分析	11 問	他者の説明について、その主張や根拠などを理解し、それを指摘すること。また、主張と根拠を結びつけること。
評価	6 問	他者の説明について、その妥当さや適切さを判断すること。また、複数の資料を統合して理解すること。

出題形式の見本

次の図表を踏まえ、文章の() に当てはまる図表番号もしくは単語を **1,2,3,4** の中から1つ選びなさい。

(**1**) is our biggest market in the world now. Since our sales are rising at fast rate in (**2**), we expect the sales in the country will catch up with those in Japan next year. These three countries account for our company's main market.

India	38%
Japan	29%
China	23%
Thailand	6%
Singapore	4%

(1)

- 1** India
- 2** China
- 3** Thailand
- 4** Singapore

(2)

- 1** India
- 2** China
- 3** Thailand
- 4** Singapore

(2) 中学校

中学校では、ほぼ同じ形式の質問が提示された。形式ごとの問題数と大きく異なる点のみ提示する。

■ リーディング

出題分野	問題数
語彙	6 問
文法	3 問
表現	3 問
読解	6 問

■ リスニング

出題分野	問題数
会話文応答	9 問
会話文内容一致	9 問
文章内容一致	9 問

■ ライティング

趣旨：資料を正確に読み取った上で、英語で文を適切に書くことができるかを問う。

出題形式の見本 *出題見本は、本調査で使用された問題ではありません。

あなたは英語の授業で夏目漱石について調べました。調べた結果は次のとおりです。この結果をもとに夏目漱石についての説明を、3文以上の英語で書きなさい。

- 1867年東京生まれである。
- 日本で最も著名な作家の一人である。
- 漱石の本は世界中で読まれている。
- 1900年英語を勉強するためにロンドンに渡る。
- ロンドンに到着したとき33歳であった。

■ 論理的思考力 (ICT)

論理的思考力は、リーディングとリスニングに含まれた形で出題され、以下の構成要素から成り立っている。

出題分野	問題数	分野の説明
表現・推論	4 問	論理規則を用いて、筋の通った議論を作りあげること。また、接続表現などを用いて、議論を分かりやすく示すこと。
分析	14 問	他者の説明について、その主張や根拠などを理解し、それを指摘すること。また、主張と根拠を結びつけること。
評価	5 問	他者の説明について、その妥当さや適切さを判断すること。

趣旨：図表に記されている内容を読みとり、自ら複数の結論を構築し、それらを比較する能力を問う。

出題形式の見本 (ICT) *出題見本は、本調査で使用された問題ではありません。

*この問題は大問構成となっており、大問の中の設問が進むにつれて、より複雑な論理構造を理解することが必要な構成となっている。

画面を操作して、以下の各問で文を完成させるのに最も適切なものを **1,2,3,4** の中から1つ選びなさい。

*実際のテストでは、以下の説明内容がアニメーションで表示され、生徒はアニメーションを操作することによって、解答を導き出す。

(説明：画面の左側には一匹のネコがいる。右側には、ネコの好きな対象物と嫌いな対象物（果物、飲み物、野菜、肉が数種類）が示されている。果物と野菜にはそれぞれ決められた色がある（黄色いバナナなど）。生徒は、ネコの好き嫌いをシミュレーションで確かめることができる。ネコに対象物をドラッグすると、ネコの表情が変化する。好きな対象物の場合には、嬉しそうな表情になり、嫌いな対象物の場合には、まずそうな表情になる。論理構造がより複雑になる問題では、ネコの好きな対象物と嫌いな対象物を属性ごとに分類し、シミュレーションを複数回行うことで、答えを導き出すことが求められる。)

*一問目は、各選択肢一度のシミュレーションで仮定を検証できる。

(1) The cat does not like...

- 1 yellow bananas
- 2 red tomatoes
- 3 water
- 4 chicken

*二問目は、各選択肢複数回のシミュレーションで仮定を検証することが必要となる。

*ばらばらになっている対象物を、指示された属性でグループ分けすることが必要となる。

(2) The cat likes all...

- 1 fruits
- 2 drinks
- 3 vegetables
- 4 meats